



6月定例会

議案質疑

一般会計補正予算
条例・人事

P2~4

一般質問

P5~8

常任委員会活動

P9~11

子ども達のつながいを

衣奈子とも未来塾

婚活で♡ 地域・ひと・まちづくり

平成29年 6月定例会 6月9日～15日



平成29年6月定例会は、6月9日から15日までの7日間の会期で開きました。

今回の定例会では、平成29年度一般会計予算に6000万円の追加補正をはじめ、専決処分による報告で7件、繰越明許費計算書の報告2件、人事案件10件、条例の一部改正3件、条例の制定1件を慎重に審議し、すべて可決・承認・同意しました。
また、一般質問は4名の議員が登壇しました。

婚活イベント

60万円

問

開催日程など計画内容と、参加者の年齢対象は。

答

参事・産業建設課長

県費補助を活用し、当町の人口の増加、地域資源の活用を目的とし、婚活交流イベントを実施します。

内容としては、男性は町内在住の方が、ウターン、インターン希望者の单身の方。
女性については在住地を問いません。
また、年齢制限は設けない予定です。
地元産品をつかった調理実習を行って交流を深める計画です。
12月中に実施予定です。

国民健康保険

問

今回の国保条例改正の大きなポイントは何ですか。

答

税務課長

改正内容につき

ましては、国民健康保険税は、負担能力が特に不足している被保険者を救済するため、世帯の所得が一定以下の場合、平等割、均等割部分の保険税については、原則として、7割、5割、2割の軽減を行っています。
昨年度、軽減を受けた世帯が、生活水準が変わらなければ、本年度においても引き続き、当該軽減を受けられるように、消費者物価の伸び等を考慮して、見直しを行うものです。

防災ヘリポート

問

災害時には力を発揮すると期待していますが、どのような訓練を予定しているのか。

答

総務政策課長

防災ヘリ等の離着陸の訓練を予定しています。

訓練時には、住民の皆様にも周知しまして、どういう形になるかは未定ですが、参加、体験していただきたいと考えています。



議案質疑



東京下北沢でのアンテナショップ

アカモク推進ブランド化 100万円

問

観光振興事業補助金の内容は。

答

アカモクを主体

とした新しい地域の特産品として、ブランド化の推進を行う事業です。

アカモクの消費量の拡大に伴い、生産量の増加と漁業者所得の向上を見込んでいます。

固定資産税減免

問

過疎地域自立促進特別措置法の改正に伴い、減価償却の特例の拡充等というところで、今回新たに「農林水産物等販売業」が追加され、申請により3年間、固定資産税が減免されるとい

う条例改正であるが、この「農林水産物等販売業」とは、どという販売業なのか？

答

税務課長

対象の「農林水産物等販売業」とは、「過疎地域において、生産された農林水産物、または、当該農林水産物を原料もしくはは材料として製造、加工もしくは調理したものを店舗において、主に他の地域の者に販売することを目的とする事業」です。

問

「減免対象の条件」と「課税免除の対象となる固定資産」とは。

答

税務課長

「減免適用」となる要件は、青色申告をする法人が個人で、町内の設備を新設、または増設、もしくは既存の施設、または設備を取得した場合で、合計金額2700万円を超えるものです。そして、「課税対象」は、「家屋・償却資産・土地」です。

問

「空き家」も対象条件に当てはまる

答

税務課長

賃貸の空き家は、対象外です。

しかし、買った空き家を改修、増築した場合の店舗は対象となります。ただし、居住部分は、対象外です。



議案質疑

議案質疑

議案質疑・人事

一般質問

常任委員会

コミュニティ・スクール

問 コミュニティ・スクールの目指すものは。

答 教育長 「地域とともにある学校」というのが大きなテーマです。

教育には学校だけでは解決できないさまざまな

課題があり、地域とともにそれらの解決を図る、また、地域にある課題についても、学校・地域が一体となり、地域の活性化を図るといった取り組みをしていくというのが、学校運営協議会の目標です。

学校コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置している学校のことを指します。法律に基づく制度で、主に3つの機能があります。

- 校長が作成する学校運営の基本方針の承認をすること(必須)
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べることができること

学校運営協議会は、学校の良きパートナーになるものであり、校長先生が描く学校のビジョンを地域住民や保護者と共有し、校長先生のリーダーシップのもとに共に汗をかき、そのビジョンの実現を目指そうとするための仕組みです。



人事



由良町副町長の任命について

宮下 幸一郎 氏

(衣奈727番地)

の選任に同意しました。

(就任あいさつ) この度、6月議会において同意をいただき、7月1日付けで由良町副町長に就任いたしました。

副町長という職責の重さを考えますと、身の引き締まる思いであります。

ふるさと由良町のために、もとより浅学非才ではございますが、岡前副町長の思いを受け継ぎ、畑中町長の補佐役として最善を尽くし、職責を果たしてまいりますので、今後とも変わらぬ、ご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

由良町農業委員会委員の任命について

次の8名の任命に同意しました。

中谷 隆氏 (三尾川86番地) 平林 孝郎氏 (吹井372番地)

野田 俊夫氏 (門前948番地) 御影 常夫氏 (衣奈802番地)

濱田 信司氏 (阿戸216番地) 古曾 成樹氏 (里1078番地)

城 臺 泰裕氏 (畑576番地) 小谷 かおり氏 (里231番地)

由良町監査委員の選任については

玉置 一郎 (門前1004番地)

の選任に同意しました。



玉置 一郎 議員

一般質問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は4名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。

平成30年度～平成35年度までの3小学校への6年間の入学児数

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
由良小	20名	28名	13名	22名	19名	14名
白崎小	15名	9名	9名	7名	5名	7名
衣奈小	4名	7名	2名	5名	0名	3名
3小学校総数	39名	44名	24名	34名	24名	24名

(平成29年5月末現在)

● 今後6年間の3小学校への入学児数は

○ 34年度、衣奈小学校への入学者はゼロ

● 今後、どのような教育を目指すのか？

○ 今後の方向性を示していく
必要性がある時期に来ている

問

今年度の町内3小学校へ入学した児童数は、合計42名です。

未就学児（5歳児～0歳児）の、転入転出が無
いとして、来年度から35年度までの3小学校への入学児数と、その合計は

答

教育長

*（教育長の答弁内容については、上記の表の通りです。）



問

今まで、総合教育会議や教育委員会で様々な案件が話し合われ協議されてきました。

由良町の出生数の減少状況を考えると、今後の教育環境について、町民の皆様の声を聞く機会を設けることや、調査も必要ではないか。
「ピンチをチャンスに変えられるのではないか。」

答

町長

由良町の未来を担う子どもたちの環境について、教育環境の観点から、保護者、地域住民、それぞれの意見を聞きながら、教育委員会において協議を重ねると共に、総合教育会議においても、教育大綱を踏まえて、様々な角度から議論

答

教育長

少子化や児童生徒数の減少による社会変化は、新たな教育課題を提起しています。どのような教育環境が望ましいのか、突っ込んだ議論をしなければならぬ段階に来ていると思います。

現在、教育委員会内で、自由な意見交換を行っていますが、より、その整理をし、今後の方向性について示して行く必要性がある時期に来ていると考えています。

その他の質問

● 「防災協働社会」を構築するために「地域防災力」の向上と「危機管理」について



中谷 茂生 議員

質問

●コミュニティスクールの取り組みは

○地域とともにある学校に

問 コミュニティ・スクールそのものの説明を。

答 **教育長** *（教育長の答弁内容については、4ページ参照。）

問 今回、このコミュニティ・スクールを衣奈小学校だけに限定して始めることの理由は。そして、他の2小学校、中学校への設置時期の予定は。

答 **教育長** 現在、共育コミュニティの取り組みを通して、地域の方々による学校支援



答 **教育長** 学校運営協議会は、年4回の開催を計画しています。委員には、各区長さんにも加わっていただいております。学校、地域それぞれの要請に応えた学校づくりが期待されるものと考えます。

問 協議会には、法律上のかかなり強い権限があり、その一つに職員の採用、その他の任用に関する事項についてがあります。それにより、学校現場で、

答 **教育長** 5月17日の衣奈学校運営協議会において、機能及び権限としての3点（*4ページ参照）を由良町学校運営協議会規則をもとに説明をしたところです。

●小中一貫教育、そして小学校統合、義務教育学校へ

○より良い教育のための手段として検討

問 コミュニティ・スクールの設置で小学校統合についての検討は終わりということにはならないか。

答 **教育長** 現時点においては、関係のないものと考えます。

問 小中一貫教育・小学校統合との関係についての考えは。

しかしながら、協議する中で、より良い教育を実現するための手段として、そういった議論が出てくることがあるかもしれません。



由良 守生 議員

一般

● 風力発電の停止、撤去を

○ 町には権限はありません

問

低周波被害とは何か。

低周波空気振動により、被害者はどの様に苦しむことになるのか。

私は、この5年半の間

に、風力発電公害の第一人者である故汐見文隆先生や京大理学部名誉教授の小林芳正先生から、貴重な勉強をさせていただきました。

風力発電施設から発生する人の耳に聞こえない超低周波音こそが、被害者に最も大きな苦痛を与えている、ということでした。

内耳が、損傷して内リンパ水腫になっているのだそうです。

低周波被害にあう確率は、10%程度だろうと言

われています。頭痛や目まい、吐き気、つらさなど健康が損なわれ、生活もできなくなる人は100人中1人か2人だろうと思います。

畑地区では、5、6人

だろうと感じました。被害者が、少数だからと言って無視することは正しいでしょうか。

日本国憲法第11条には、「国民は、すべて基本的人権の享有を妨げられない。基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる」と、書かれています。

風力発電の低周波被害は、根本的に原因を取り除かない限り、終わることはありません。

是非、21基の風力発電の停止、撤去を決断してもらいたい。

答

町長

お答えという

か、質問ではないのですが、答弁致し難いのですが。

町において、風力発電の停止あるいは撤去、そ

れらをする権限等はありません。

町への決断を迫る以前に、国などへ決断を迫っていただけだと思います。

その他の質問

● 寄付された本の活用について





川出 純 議員

一般質問



鳶島付近

町内、鳶島付近の県道改修を

既に県へ要望済みです

問 由良海つり公園事務所付近の山側から、県道ヘイノシシが下りてきて山の斜面を荒したり、人頭大の石が落ちてくるものが多くあります。

答 町長 県道御坊由良線、糸谷から神谷間の改修については、すでに県に要望済みで、順次進めてもらっています。

このことを放置すれば、重大な事故になりかねません。防護柵などの設置を、早急に県へ申し入れ、対

議員ご指摘の箇所についても、落石防止柵の設置工事入札が実施済みです。

どうなる？ 県下統一になる国民健康保険

大幅に変わることはありません

問 由良町の国民健康保険税の算定方式は、所得割・資産割・均等割・平等割の4方式に基づいて、徴収しています。

来年度から、県下統一で、県と市町村が役割分担をしながら、国保運営をしていくことが決定しています。

来年度から、国保税の算定方式が、大幅に変わることはあるのか。

また、全国町村会は、国保制度改正に対して、どのような意見を持っているのか。

答 町長 和歌山県国民健康保険運営方針骨子案において、制度改正後、す

くは保険税率の統一はせず、約10年をかけて統一を目指すという方針が示されています。

よって、国民健康保険税の算定方式については、来年度から大幅に変わることはありません。

昨年7月、今回の国保制度改正について、全国町村会は、国に対して「保険料算定方式の拙速な統一をしないこと」「町村の事務の簡素化を図ること」などの要望を行っています。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会は6月27日、町内小・中学校と、ゆらこども園を視察し、給食センターを訪問しました。

町内小・中学校・こども園視察・給食センター訪問

各校の校長及び主任保育士から現状や問題点についての説明を受け、各委員から様々な質問を行い、教育について深く考える機会を持ちました。また、給食センターでは、由良町教育委員会栄養士から説明を受けました。



常任委員会

企業訪問

平成29年6月20日



MES-KHI由良ドック株式会社



RP東プラ株式会社 和歌山工場



株式会社 駒井ハルテック和歌山工場

町内工事箇所及び施設等視察

平成29年6月23日



大引地区工事箇所



中地区工事箇所

議案質疑

議案質疑・人事

一般質問

常任委員会

産建厚生

議案質疑

議案質疑・人事

一般質問

常任委員会



戸津井鍾乳洞待避所



小引クリーンセンター
(平成29年3月31日供用開始)



ゆらっと紀州(改装後の蔵内)



吹井小型船舶係留施設



糸谷下水道工事箇所



衣奈～三尾川道路改良工事

衣奈子ども未来塾 に行ってきました



昨年の夏休みから、毎週土曜日、午前9時30分から11時30分まで衣奈会館にて、衣奈小学校区の小学生を対象に「衣奈子ども未来塾」が開設され、1年になります。指導員として、子ども達をサポートしている、元教師の坂田悦子さん、衣奈会館長の濱口龍弘さんに、お話を聞いてきました。

居心地が良く、子どもの活動が 広がる場所と時間を

Q 未来塾で子ども達と接し、実感されていることは。

A 開設当初、6名の参加者でした。しかし今では、15名になることもあります。

児童の学習支援という目的とともに、子ども達自身が、「昼から遊ぶ約束をし、みんなで集まって遊ぶ」という、衣奈の子ども達の「つながり」が、確実に深まっていると感じています。

Q 一番大切にしていることは。

A まず、子ども達にとって、居心地の良い場所と時間を提供してあげたい。この地域で、育つ子

ども達を応援する気持ちで接しています。

そして、家で一人で居るよりも、充実するものがあることを教えてあげたい。

「宿題」などについては、学校と連携しな



がら、学習支援をしています。

Q 未来塾が開設され、子ども達は、どう変わりましたか。

A 未来塾以外の開館日の火・木曜日の放課後、自主的に集まって、宿題などをしている子ども達の姿が見受けられます。

子ども達の居場所づくりが、少しずつ根付き出したのではないかと感じています。

今年7月22日から、由良・白崎小学校区でも「子ども未来塾」が、中央公民館・白崎会館でそれぞれ開設されています。



編集後記

若い方と話をすると町内の活性化に、積極的な意見を持っているように感じることがあります。

長く住んでいると、町内の良い面を見ることは、かえって難しくもあります。

町では、摂南大学（大阪府寝屋川市）と来年3月末までの期間、大学祭や各種イベントへの参加などで、町のPRの取り組みをしています。

大学生の視点からは、我が町は、かなり魅力的にうつっているようです。（純）

議会広報編集委員会

委員長 中谷 茂生
副委員長 中村 真一

森 三枝子
吉田ひとみ
玉置 一郎
川出 純
山名 実